

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

問題 1 (全学科必須問題)

資料 1 について、設問 (1)、(2) に答えなさい。

- (1) 傍線部「私の感情をゆすぶった」とあるが、これは文中に出てくる「事情があつて東京へ来ている、農村の寡婦」に筆者がある感情を抱いたことを言う。筆者が「農村の寡婦」に抱いた感情を200字以内で説明しなさい。
- (2) 本文の内容とは関係なく、あなたの経験によりながら、「土」あるいは「水」について考えるところを200字以内で自由に述べなさい。「土」か「水」のどちらか一つを選んで述べても、両方について述べてもどちらでもよい。

1

(幸田 文「地がね」による)

2

問題 2 (心理・国際文化・社会福祉学科必須問題)

資料2について、次の (1) ～ (3) の設問に答えなさい。

- (1) 下線部 (A) を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部 (B) を日本語に訳しなさい。
- (3) 本文の内容と一致しないものを、次の (a) ～ (h) の中から4つ選び、その記号を記入しなさい。
 - (a) 「世界幸福度報告書」は毎年、国民がどの程度幸福だと感じているかに基づいて150ヵ国以上をランク付けしている。
 - (b) この報告書は世界中のすべての国を網羅している。
 - (c) キューバやジャマイカのように、サンプル数が少ないデータは偏っている可能性がある。
 - (d) 幸福度のスコアはギャラップ世界世論調査によって示された個人の主観的幸福感から算出される。
 - (e) 謙虚な回答者は、自分の幸福度を0から10までの尺度で測る場合、0や10等の極端な数値を選ぶことを避けがちである。
 - (f) 幸せをもたらす要素は多数からなり、世界幸福度報告書においてもそれらのほとんどを尺度として採用している。
 - (g) 失業率や不平等などの重要な項目については、国際的なデータが豊富にある。
 - (h) 人が幸せと感じるかどうかについては、その根拠になると考えられるデータを詳しく調べることが重要である。

資料 2

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

問題 3（情報社会学科必須問題）

今日、デジタル社会の進展に伴い、偽・誤情報が急速に拡散し、人々の意思決定や社会の安定に深刻な影響を与えています。

図 1～3は、総務省情報流通行政局が発表した「ICTリテラシー実態調査」で示されている、偽・誤情報に関する資料の一部です。

これらの資料を参考に、偽・誤情報の現状・問題について説明したうえで、行政や企業、教育機関などにはどのような対策が求められるかについて、あなたの考えを600字以内で説明しなさい。

「ICTリテラシー実態調査」の調査概要

対象：全国47都道府県の15歳以上の男女2,820サンプル
方法：全国インターネット定量調査
期間：2025年3月31日～2025年4月2日
調査機関：総務省情報流通行政局情報流通振興課
調査協力：山口真一 准教授（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）

図 1 偽・誤情報を何らかの形で拡散した人の割合

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

注 1：偽・誤情報15件のうち、1件以上見聞きした人の中で、1件以上家族や友人などの周囲に伝えたり、不特定多数の第三者に対して発信したと回答した人の割合（N＝844）。

注 2：N＝844は有効回答者数が844人であることを意味する。

図 2 偽・誤情報の拡散理由（複数回答）

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

注 3：偽・誤情報15件のうち1件以上見聞きし、かつ1件以上拡散した人が対象（N＝215）。

図 3 偽・誤情報の拡散手段（複数回答）

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

注 4：偽・誤情報15件のうち1件以上見聞きし、かつ1件以上拡散した人が対象（N＝215）。

図 1～3 出典：「ICTリテラシー実態調査」の調査結果をもとにグラフ作成。